

2024年3月21日

会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐野 富和
(コード番号：5698 東証プライム)

問合せ先 取締役 管理管掌 竹川 直希
(TEL. 0544-21-3160)

プラスチック類のマテリアルリサイクル事業を拡大 ～複数のセンサー機能を搭載した最新選別機を3台導入～

当社連結子会社である株式会社エコネコル（本社：静岡県富士宮市、代表取締役社長：佐野文勝、以下「エコネコル」）は、本社工場および富士工場の2拠点に最新のセンサー式選別機を3台導入し、2024年2月より本格稼働を開始しました。これにより、プラスチック類のマテリアルリサイクル事業を拡大します。



(エコネコル富士工場に設置した選別機)

プラスチック資源循環促進法の制定等を背景に、廃プラスチック類のサーキュラーエコノミー実現に向けた需要が高まっており、製品の原材料として再利用すること（マテリアルリサイクル）が求められています。しかしプラスチックは、成分が異なる多くの種類が存在し、プラスチックを使った製品は単一素材で作られていないことが多く、マテリアルリサイクルが難しいとされています。

複数のセンサー機能を搭載した本設備の導入により、廃プラスチック類は、ポリプロピレン（PP）、ポリエチレン（PE）、ポリスチレン（PS）、ABS樹脂など、マテリアルリサイクルに向けた素材ごとの選別が可能となります。エンビプログループでは当社の強みである選別技術をさらに向上させ、様々な企業のニーズに対応可能な再資源化ソリューションを取りそろえています。

当社グループでは、中計2028において戦略コンセプト「サーキュラーエコノミーをリードする」を掲げています。2024年2月にポリマーサーキュラーラボを開設し、企業のポリマー（ゴム、プラスチック等）製品開発のサポートを始めています。当事業の拡大により、ポリマーのサーキュラーエコノミーを推進していきます。

■設備概要

設備名称	センサー式選別機
機能	主に色や形状、金属センサー、NIR（近赤外線）などが搭載されています
設置場所	静岡県富士宮市山宮3507番地の19（エコネコル本社工場） 静岡県富士市前田字川原758-1（エコネコル富士工場）
設備投資額	約194百万円

■会社概要

エコネコルは、エンビプログループの中核事業である資源循環事業を担い、産業廃棄物のリサイクルやプラント解体等を行っています。廃棄物の中から有用な素材を回収し、再び製品に戻すことで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。

(1)	名称	株式会社エコネコル
(2)	所在地	〒418-0111 静岡県富士宮市山宮3507番地の19
(3)	代表者	代表取締役社長 佐野文勝
(4)	事業内容	産業廃棄物のリサイクル（鉄・非鉄金属・廃プラスチック・廃家電・廃OA事務機器・廃自動車等）、プラント解体、自治体粗大ゴミ処理、リサイクル資源の輸出（金属スクラップ・古紙・廃プラスチック等）、木くずリサイクル
(5)	資本金	4億3,500万円
(6)	設立	1978年7月(創業1950年3月)
(7)	株主	株式会社エンビプロ・ホールディングス 100%
(8)	URL	https://www.econecol.co.jp/

■今後の見通し

本件に関する2024年6月期の業績に与える影響は軽微です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社エンビプロ・ホールディングス
TEL：0544-21-3160 / Mail：ir@envipro.jp